

# 施設利用者アンケートの 調査結果について（報告）

令和7年1月21日（火）  
第4回若者支援施設在り方検討部会

# 目次

## 1. 利用者アンケートの概要

## 2. アンケート結果



# 1. 利用者アンケートの概要

- (1) 目的
- (2) 実施時期
- (3) 調査対象
- (4) 実施方法
- (5) 回答数
- (6) 調査項目

# 1.利用者アンケートの概要

## (1) 目的

現に若者支援施設（Youth+）を利用している方の利用実態やYouth+に求める機能を把握することで、今後の施設の在り方を検討する材料を得ることを目的とする。

## (2) 実施時期

令和6年7月1日～令和6年8月31日

## (3) 調査対象

年齢や利用形態を問わず、下記調査期間中に若者支援総合センター及び若者活動センターを利用した方

## (4) 実施方法

無記名によるアンケート調査。

若者支援総合センター及び若者活動センターにアンケート用紙及びアンケート回収箱を設置し、アンケート用紙又はWeb回答フォームによる回答の協力を依頼

## (5) 回答数

1,075件



## 2. アンケート結果

- (1) 基本情報**
- (2) 貸室**
- (3) ロビー**
- (4) 相談支援・イベント等**
- (5) 施設に求める機能**

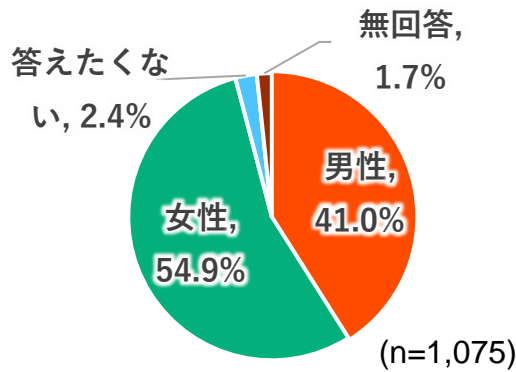
注1：この資料中の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

注2：クロス集計の場合、年齢が無回答であった回答を排除しているため、内訳の合計が全体の回答数と合致しないことがあります。

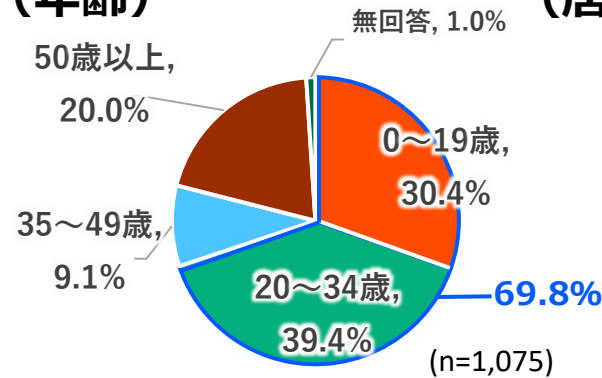
## 2. アンケート結果 (1) 基本情報 ～回答者の属性～

- ◆ 20歳～34歳からの回答が最も多く、0～19歳と合わせると69.8%を占めた。
- ◆ 居住形態は親/兄弟等と同居が44.0%で最も多く、次いで一人暮らし26.0%だった。
- ◆ 職業は学生が37.5%で最も多く、会社員/公務員等、アルバイト/パートと続いた。

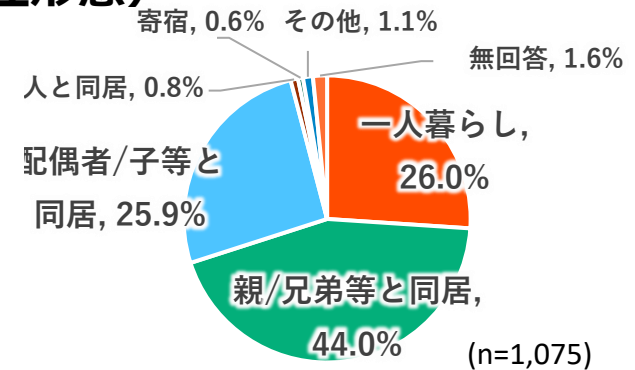
(性別)



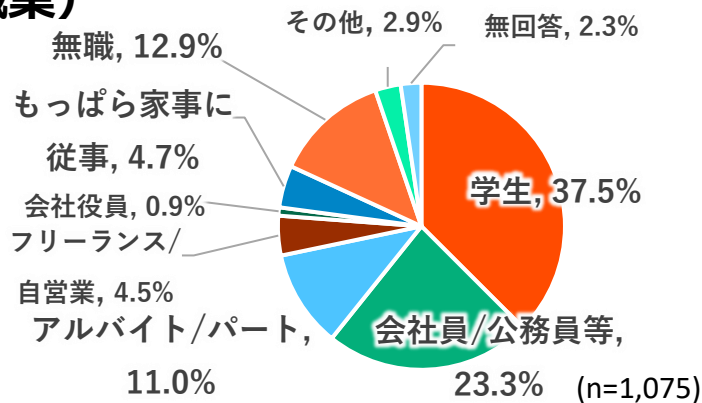
(年齢)



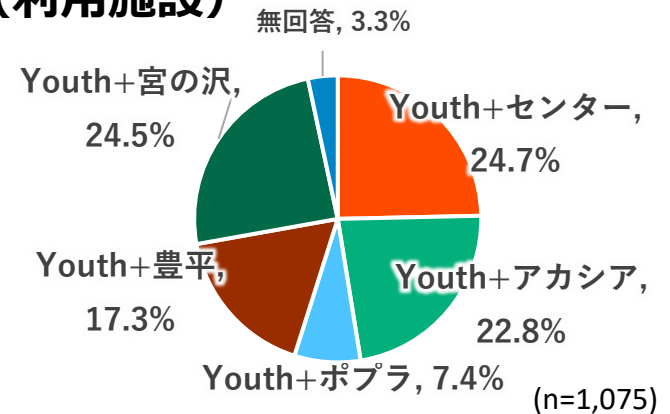
(居住形態)



(職業)



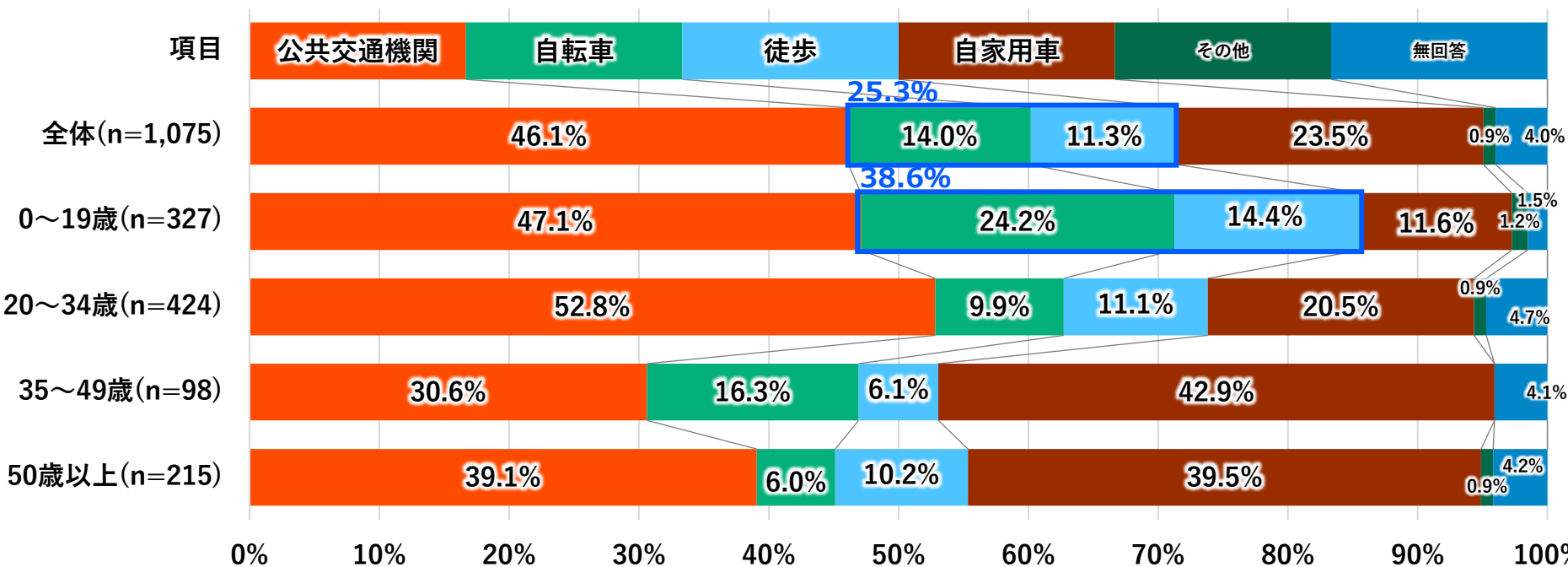
(利用施設)



## 2. アンケート結果 (1) 基本情報 ～来館手段～

- ◆ 35歳以上は自家用車の割合が最も高い一方、34歳以下は公共交通機関の割合が最も高かった。
- ◆ 自転車又は徒歩の割合が、全体では25.3%である一方、0～19歳では38.6%を占めた。

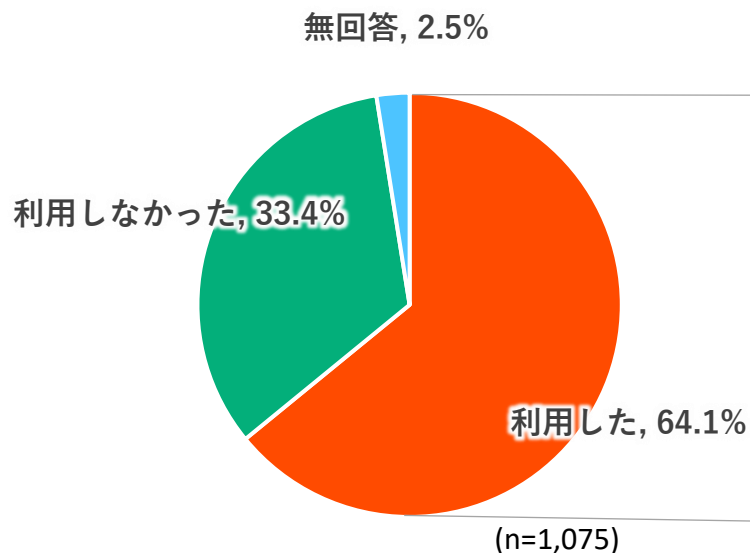
### (来館するための主な交通手段)



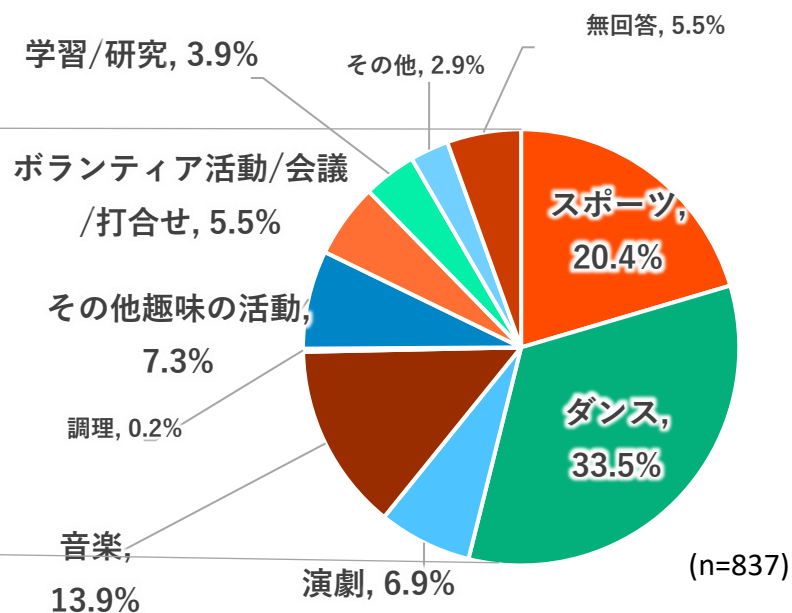
## 2. アンケート結果 (2) 貸室 ～利用・目的～

- ◆ 最近1年間で有料の貸室を利用したことがある人は全体の64.1%であった。
- ◆ 貸室の利用目的はダンスが33.5%を占め、スポーツ20.4%、音楽13.9%、その他趣味7.3%、演劇6.9%、会議等5.5%と続いた。

(最近1年間の有料貸室の利用)



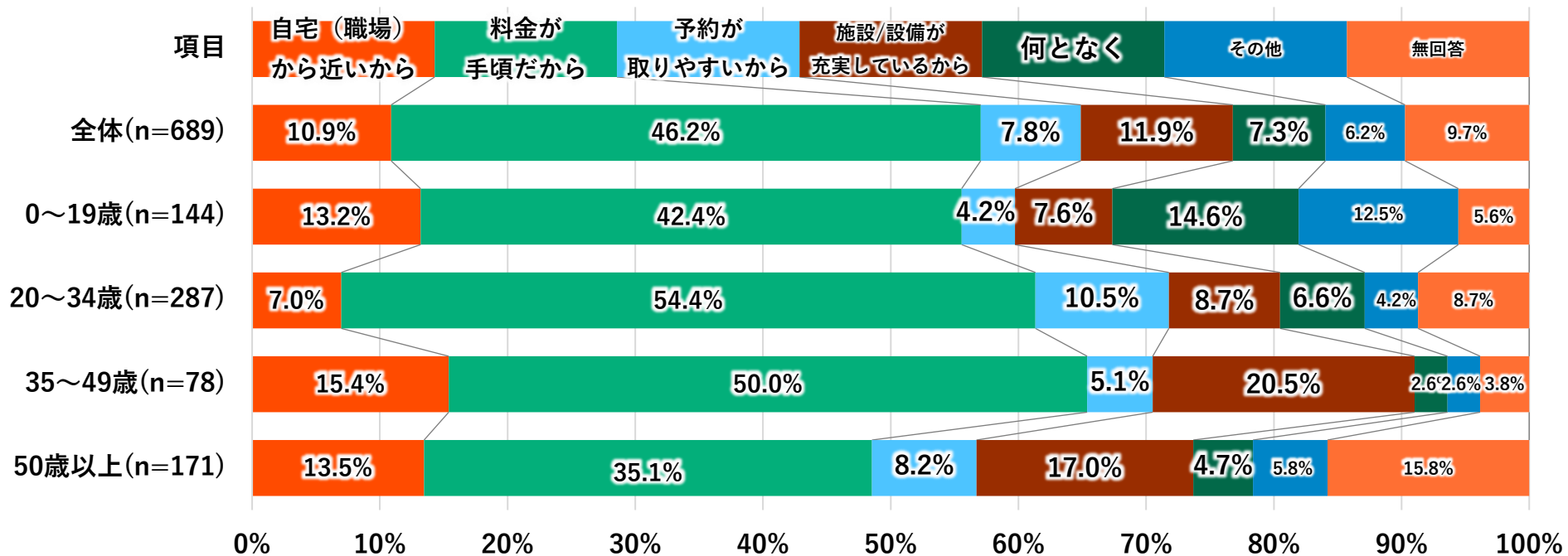
(貸室の利用目的) ※「利用した」と回答した方からの複数回答



## 2.アンケート結果 (2) 貸室 ～Youth+の貸室を選ぶ理由～

- ◆ 全世代で「料金が手頃」を理由とする回答が最も多く、次いで0～19歳は「何となく」、20～34歳は「予約が取りやすいから」を理由とする回答が多かった。

**(Youth+の貸室を利用する理由)** ※9Pで「有料貸室を利用した」と回答した方からの単一回答

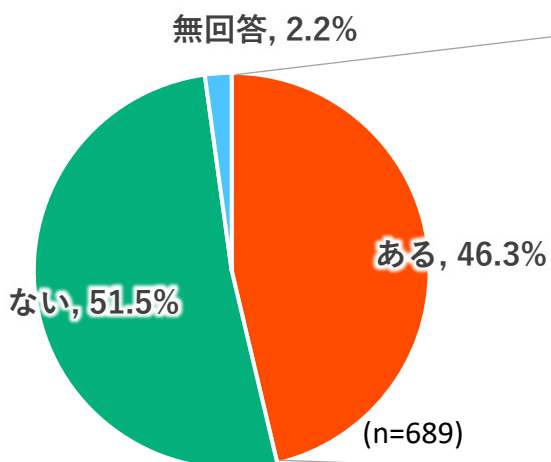


## 2. アンケート結果 (2) 貸室 ～類似施設の利用状況～

- ◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（貸室）の有無を尋ねたところ、「ある」が46.3%、「ない」が51.5%であった。
- ◆ 利用している類似施設として、区民センター/地区センターをはじめとする公共施設が多かったほか、民間の貸し音楽スタジオも一定数の利用があった。

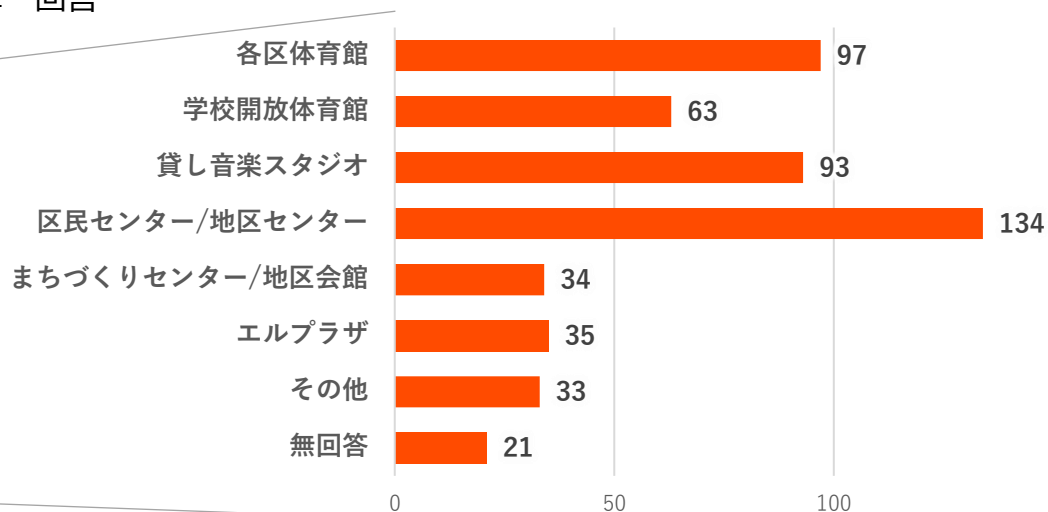
### (Youth+以外に利用している類似施設)

※9Pで「有料貸室を利用した」と回答した方からの単一回答



### (具体的な類似施設)

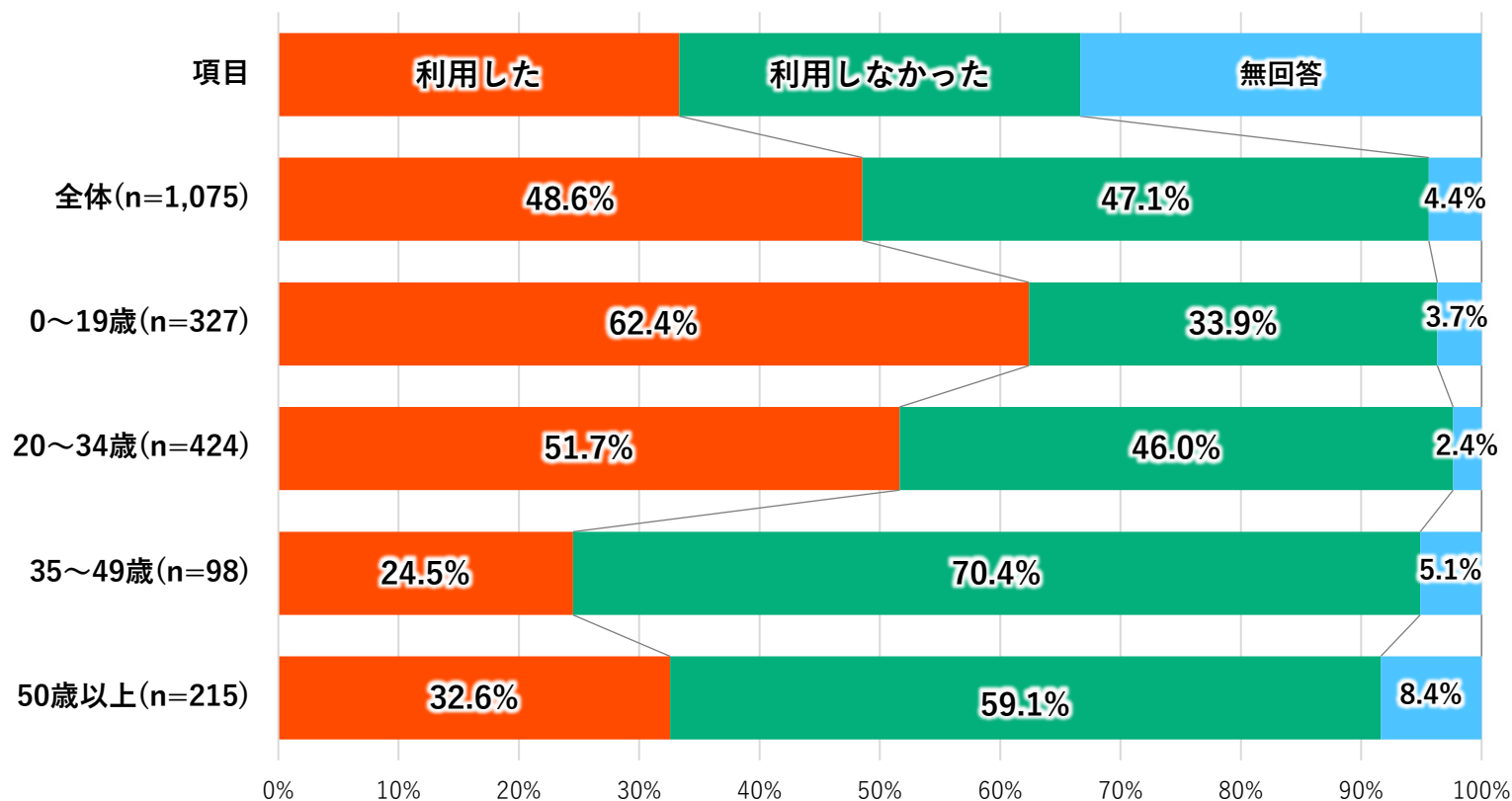
※「ある」と回答した方からの複数回答



## 2.アンケート結果 (3) ロビー ～利用経験～

- ◆ 最近1年間におけるロビーの利用経験について、0～34歳では過半数を超える人が利用したことがある一方、35～49歳では24.5%、50歳以上では32.6%にとどまった。

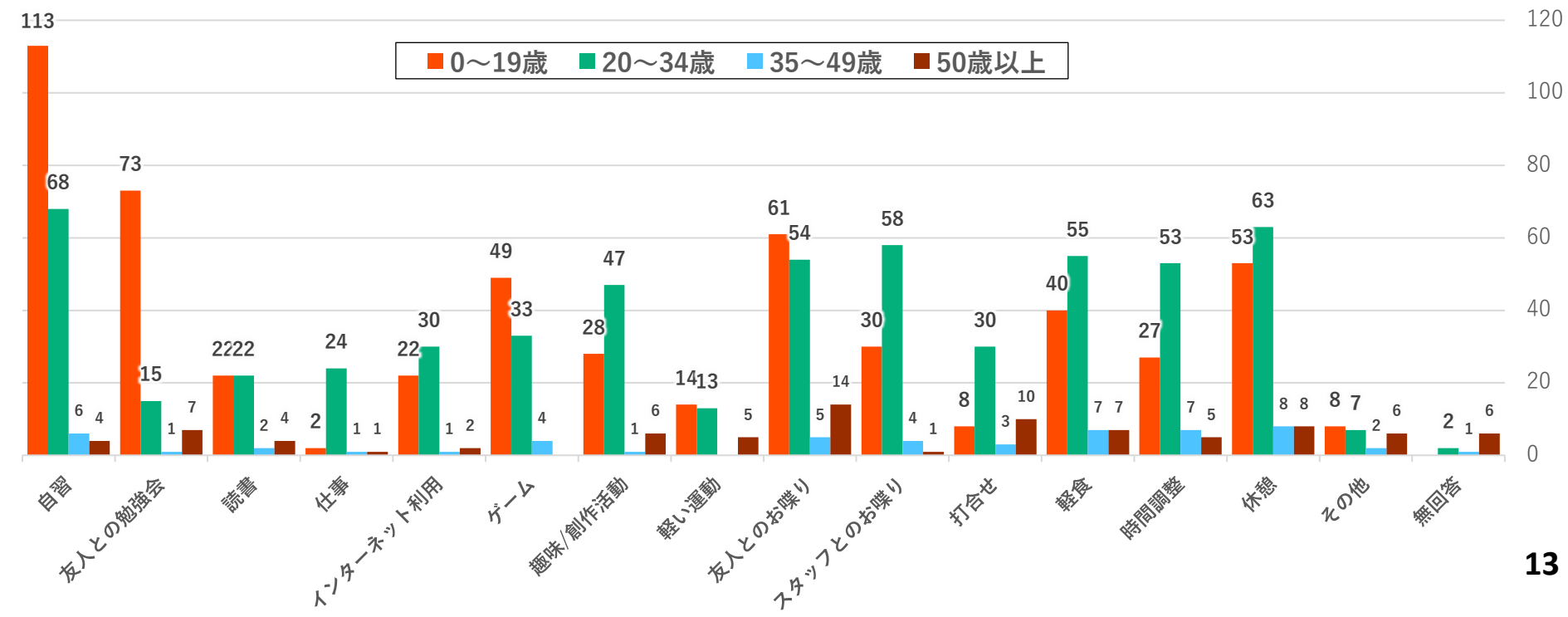
### (最近1年間のロビーの利用経験)



## 2.アンケート結果 (3) ロビー ～利用目的～

- ◆ 0～19歳は「自習」、「友人との勉強会」を目的とする利用が多かった。
- ◆ 20～34歳は「自習」のほか、「趣味/創作活動」や「友人・スタッフとのお喋り」、「軽食」、「時間調整・休憩」など幅広い目的で利用されていた。
- ◆ 35歳以上は目的にかかわらずロビーがあまり利用されていないという実態であった。

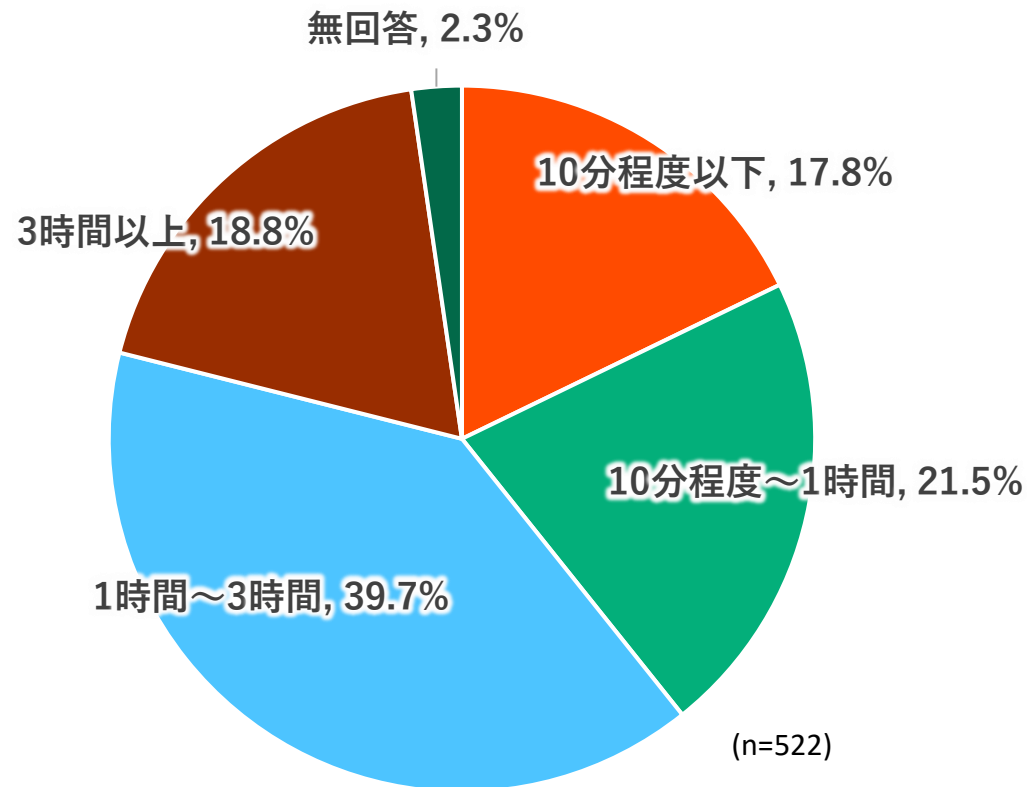
(ロビーの利用目的) ※12Pで「ロビーを利用した」と回答した方からの複数回答



## 2.アンケート結果 (3) ロビー ～滞在時間～

- ◆ 「1～3時間」滞在する人が39.7%で最も多く、次いで「1時間以内」が21.5%であった。「3時間以上」滞在する人も18.8%いた。

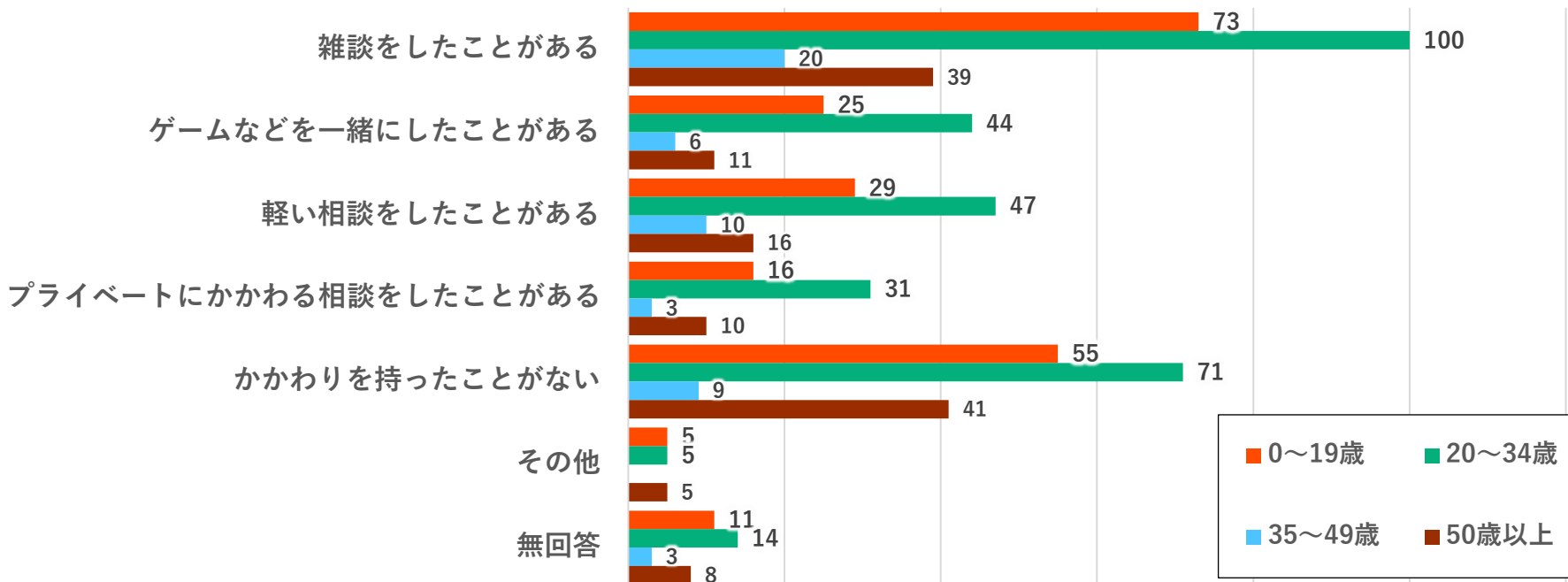
**(ロビーの滞在時間)** ※12Pで「ロビーを利用した」と回答した方からの単一回答



## 2. アンケート結果 (3) ロビー ～スタッフとのかかわり～

- ◆ スタッフと何らかのかかわりを持ったことがあるという回答は、どの選択肢も20～34歳が最も多く、次いで0～19歳が多かった。
- ◆ スタッフとのかかわり方は、年齢層別で大きな違いは見られなかった。
- ◆ 「その他」では「軽食をもらった」や「イベントの打合せをした」、「第2の親みたいなもの」という回答もあった。

(スタッフとのかかわり) ※12Pで「ロビーを利用した」と回答した方からの複数回答

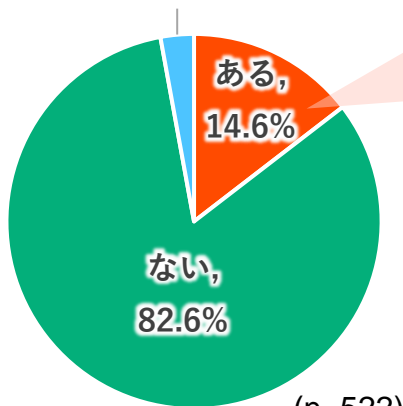


## 2. アンケート結果 (3) ロビー ～類似施設の利用状況～

- ◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（ロビー）の有無を尋ねたところ、「ない」が82.6%を占めた。

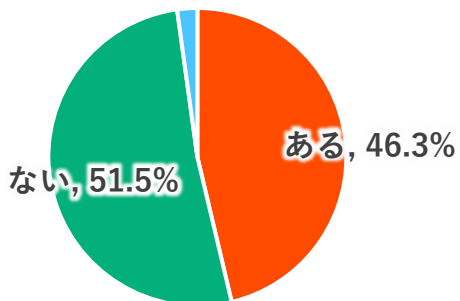
(Youth+以外に利用している類似施設) ※12Pで「ロビーを利用した」と回答した方からの単一回答

無回答, 2.9%



(参考：貸室の場合)

無回答, 2.2%



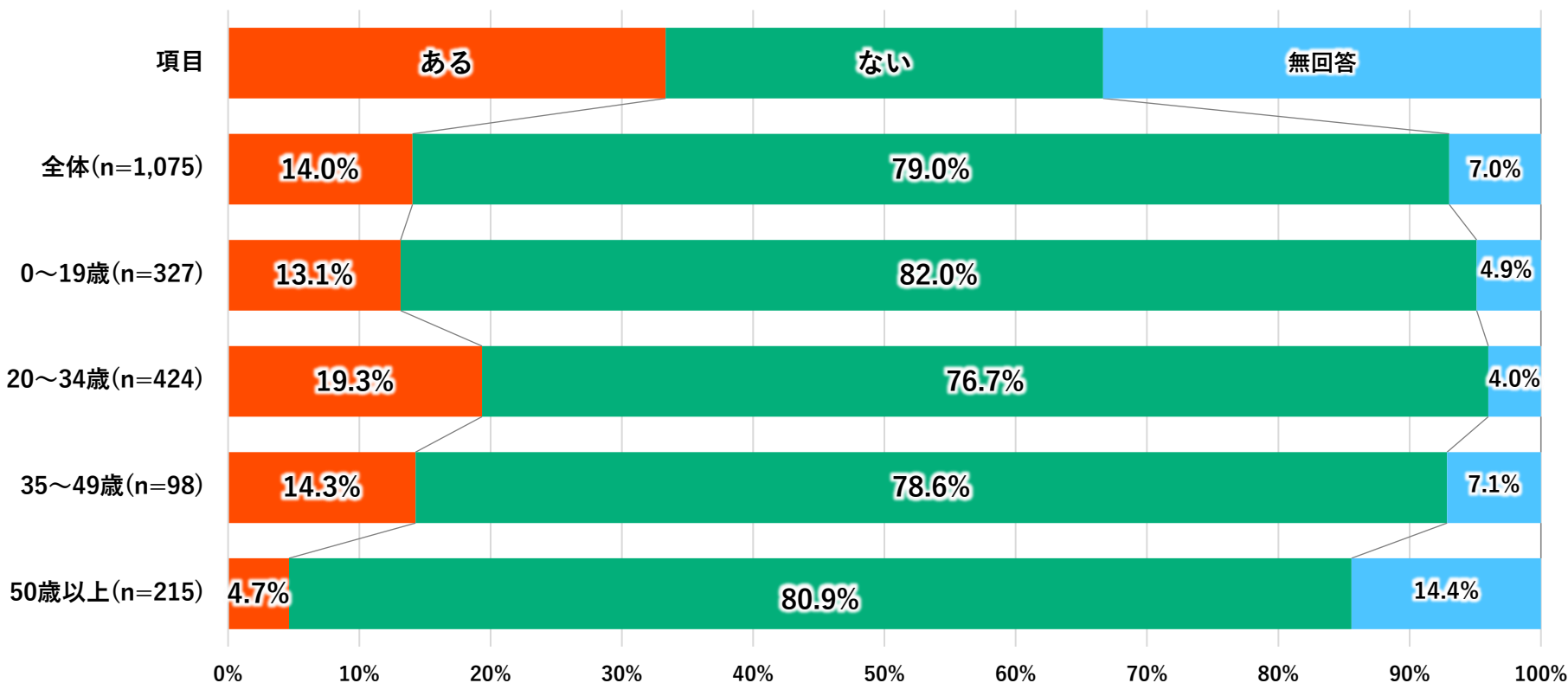
### (利用している具体的な類似施設)

- 図書館、エルプラザ、区民センター、ちえりあ
- 学校
- カフェ
- ピッケノハコ、漂流教室  
(居場所 (運営：NPO法人))
- 就業・生活相談室 (障がい者就業支援施設)
- 地域活動支援センター (発達障がい者支援施設)
- 精神科デイケア、放課後等デイサービス
- コミュニティカフェ 等

## 2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント～利用経験～

- ◆ 困り事の相談・支援プログラムや交流イベント・ボランティア活動の利用/参加経験について、全体で14.0%の人が「ある」と回答した。
- ◆ 年齢層別に見ると20～34歳で「ある」の回答が高い傾向が見られた。

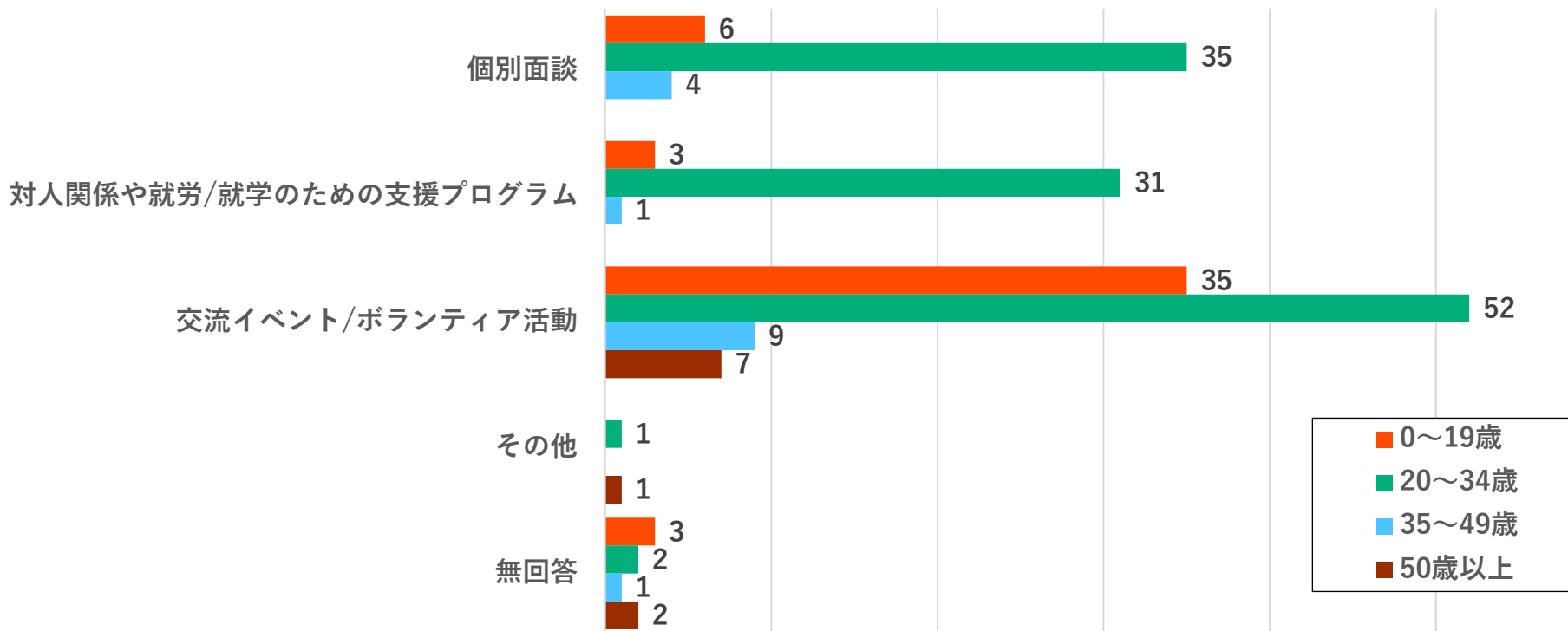
### (相談・支援プログラムやイベント等の利用経験)



## 2.アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～利用内容～

- ◆ 「個別面談」、「対人関係や就労/就学のための支援プログラム」は20～34歳の利用が突出して多かった。
- ◆ 「交流イベント/ボランティア活動」についても20～34歳の利用が最も多い一方、0～19歳にも一定程度利用されていた。

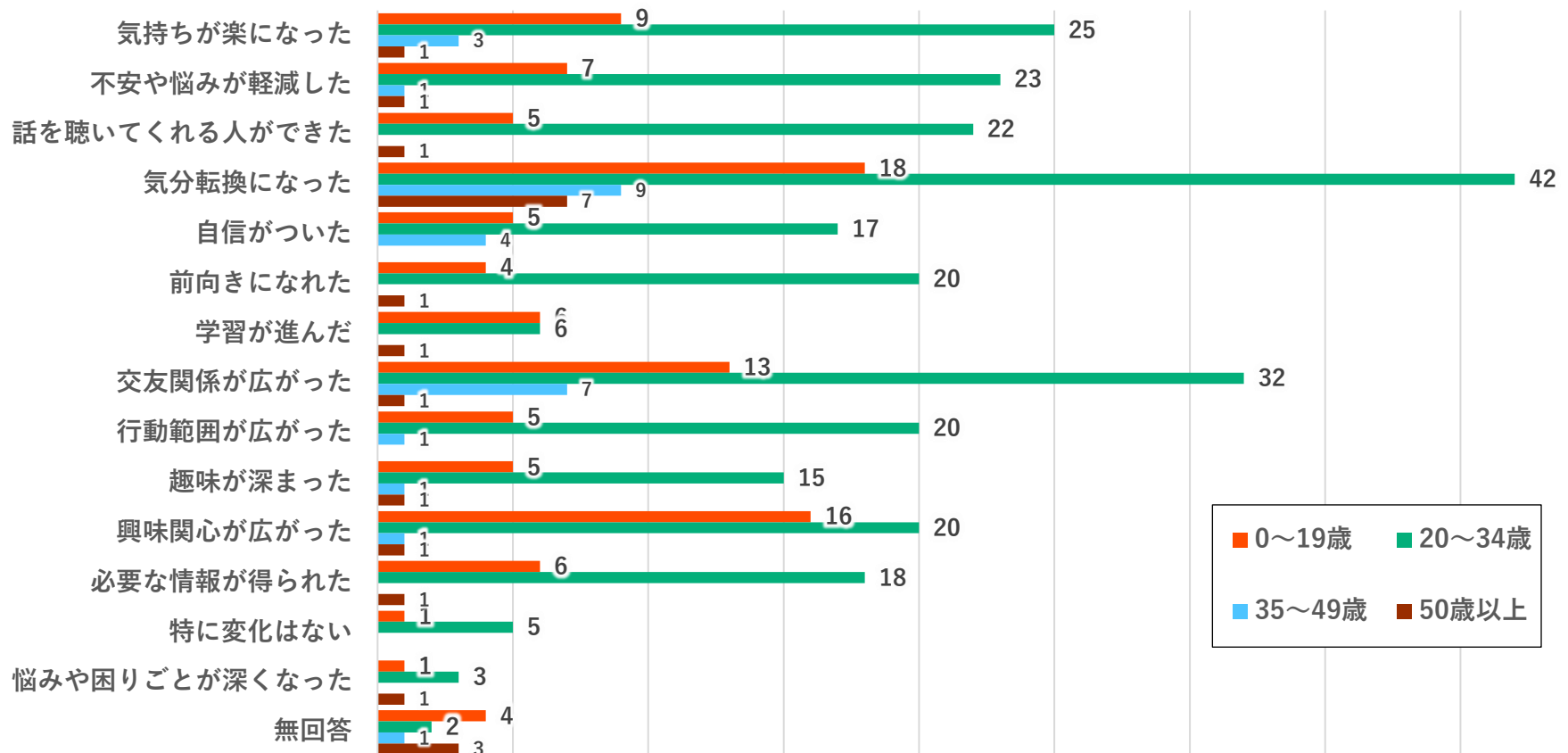
**(相談支援・イベント等の内容)** ※17Pで「利用経験がある」と回答した方からの複数回答



## 2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～利用後の変化～

- ◆ 全世代で「気分転換になった」との回答が最も多かった。
- ◆ 0～19歳では「興味関心が広がった」、20～34歳では「交友関係が広がった」との回答が多かった。

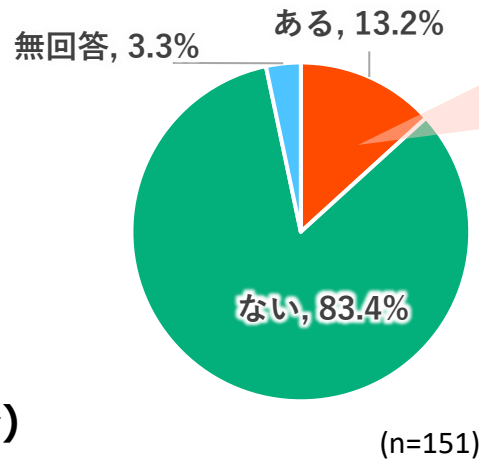
(気持ちや生活の変化) ※17Pで「利用経験がある」と回答した方からの複数回答



## 2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント～ 類似施設の～ 利用状況～

◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（相談支援・イベント）の有無を尋ねたところ、「ない」が83.4%を占めた。

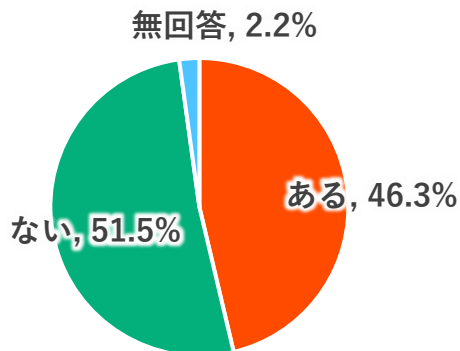
(Youth+以外に利用している類似施設) ※17Pで「利用経験がある」と回答した方からの単一回答



### (利用している具体的な類似施設)

- エルプラザ
  - ピッケノハコ、漂流教室  
(居場所 (運営：NPO法人))
  - フリースクール
  - ハローワーク
  - デイサービス
  - カウンセリング
  - コミュニティカフェ
- 等

(参考：貸室の場合)



## 2.アンケート結果 (5) 施設に求める機能

- ◆ 全世代で「誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」との回答が最も多かった。
- ◆ 次に多かったのが「活動室や体育館など、活動する場所の提供」であり、次いで、「不登校やひきこもりの方たちの相談支援」であった。
- ◆ 年齢層別でYouth+に求める機能に大きな違いは見られなかった。

### (Youth+に求める機能)※複数回答

